特集／島田 幸三 小美玉市長 2期就任インタビュー　広告　企画・制作 建設未来通信社広告部

躍動する小美玉新時代へ

～茨城空港前と羽鳥駅前へ新たな交流拠点整備～

小美玉道路は都市計画決定へ

島田幸三氏は4月の小美玉市長選挙で無投票再選を果たした。初登庁後、記者会見に臨んだ島田氏は、前回の市長選で掲げた『教育』『農業』『福祉』『地域防災』『商工観光業』の振興について触れ、「この4年間で種をまき、短期的には花開いたものもあるが、まだ蕾の状態のものもある。市民の皆さまと一緒になり、躍動する小美玉新時代に向けて次の4年できっちり花を咲かせたい」と抱負を語った。茨城空港を活かした魅力あるまちづくりの実現を目指すという島田市長に、今後の事業方針などを聞いた。

―1期目を振り返って

1期目の選挙では『教育』『農業』『福祉』『地域防災』『商工観光業』の5つの振興を掲げて当選させていただいた。コロナ禍の影響を受けつつも、市民の皆さま、そして市議会と一緒になって各種施策を進め、4年間で様々な種を蒔いてきた。小中学校の給食費無償化といった「おみたまっ子応援パッケージ」など、中には花開いたものもあるが、まだ蕾のものもあれば芽が出たばかりのものもある。これからの4年間でそれらを着実に育て、大きな花を開かせていきたい。市の発展のために1つでも多くの果実を収穫できればと思っている。

―2期目の抱負を

躍動する小美玉新時代に向けて、◇スマートに支え、ハートで包む。「ずっと住みたいまち」へ◇新たな拠点から芽吹き、そして、「将来への活力」を生み出す◇安全を底上げし、持続可能な安心と「豊かな暮らし」を築いていく―の3つを柱とし、新たな交流人口の創出や地域資源を活用した企業誘致、陸と空の交通基盤の整備、不安ゼロのまちづくりなどに取り組んでいく。

また、現行の総合計画が2027年度末で終了するため、本年度から2カ年をかけて第3次総合計画を策定する。総合計画は、まちづくりの方向性を示す最上位計画。今後の市の持続的発展につながる重要な計画となるので、国や県などの動向や社会情勢をみながら、しっかり取り組みたい。1期目には新まちづくり構想を策定しているので、これをベースに各地域の発展に向けた取組も進めていく。

―3つの柱についてお聞かせください

まず、「ずっと住みたいまち」については、子育てや教育、医療・福祉の施策を充実させたい。国に先駆けて実現した給食費無償化は、おかげさまで子育て世帯から評価をいただいている。財政面と相談しながらになるが、義務教育期間中の経費の負担軽減として、無償化を目指していきたい。少子高齢化は大きな課題。子育て支援をさらに充実させ、子育て世帯の経済的負担の軽減を図っていきたい。

―「将来への活力」については

「将来への活力」としては、新たな交流人口の創出をはじめ、企業誘致や交通基盤の整備を推進する。新まちづくり構想をもとに、茨城空港前エリアやJR羽鳥駅前エリアへの新たな交流拠点整備を計画しており、本年度から測量や調査など、事業が本格化する見通しだ。

空港前は防衛省の補助金を活用し、航空機の展示やフライトシミュレーターの設置のほか、多くの人が交流できる交流館のような施設を整備する。また、空のえき「そ・ら・ら」では、駐車場用地の拡張やドームの設置なども計画している。

羽鳥駅前は図書館や公民館の機能などを集約した複合施設とし、民間活力の導入を視野に入れ、東口・西口とも多くの人でにぎわう拠点にしていきたい。資材価格の高騰が著しいので、どちらも社会情勢を見極めながら慎重に進めていくことになるだろう。

企業誘致については、空港周辺にエアロトヨタ㈱の工場を誘致することができた。引き続き関連企業や航空企業などの誘致に努めていく。空港周辺では150人程度が宿泊できるホテルの誘致を念頭に動いていきたい。

交通基盤の整備としては、国道6号小美玉道路（仮称）を都市骨格としたまちづくりを推進するとともに、県がターミナルビル拡張の検討を始めた茨城空港の機能強化を促進していく。小美玉道路は環境アセスメントが進んでいると聞いているが、この4年間で都市計画決定までもっていきたいと考えている。将来のまちづくりにとって非常に重要な道路なので、待ちの姿勢ではなく、国などへ積極的に働きかけて、一日でも早い完成につなげていきたい。

航空企業などの誘致を推進

茨城空港は民航機の着陸ルールの弾力的な運用が開始され、今後、利用者のさらなる増加が期待されている。空港機能の強化に向けて国や県などと連携を密にしていきたい。

―「豊かな暮らし」はいかがでしょうか

小美玉市の基幹産業は農業。差別化・ブランド化を図り、稼げる農業を目指していく。小美玉ブランド「小美玉のめぐみ」として、これまでに乳製品や豚肉、ニラ、ウナギなどを認定している。高付加価値を創出し、スマート農業なども組み合わせ、持続的・発展的な農業へ転換していきたい。

豊かな暮らしの前提として、防災・防犯もしっかりしなければならない。地震や豪雨、河川の越水などは、いつ発生するか分からないもの。昨年5月には県との合同で避難力強化訓練を実施したが、今後も防災力の強化に取り組んでいく。

―公共工事と入札制度

デジタル技術の普及・拡大により、インターネットやソフトウェアといった技術革新が急速に進展し、公共工事の現場も変革期にある。さらに、コロナ禍の影響で非接触・リモート型の働き方への転換も進み、人々の生活様式は大きく変わった。本市もDX推進計画を策定し、各種手続きや窓口サービスなどの市民サービスを積極的にデジタル化している。

入札については、一般競争や指名競争のほかにも様々な方式があり、従来型にこだわらず、提案型を導入するなど適切な入札方法を検討したい。現在はそのための勉強中。業界の皆さまと議論してより良い方法を模索したい。

―建設業へメッセージを

合併から20年が経過したが、建設業の皆さまのおかげで市民生活の向上につながるインフラ整備が進んでいる。また、小美玉市建設業協会をはじめとする各団体の皆さまには、災害時の復旧作業や冬場の凍結防止剤散布など、昼夜を問わずご尽力をいただいている。特に23年の豪雨災害の際は、市内だけで約200カ所が被災したが、皆さまの迅速な出動により早期に応急復旧することができた。

頻発化・激甚化する自然災害に対応し、市民の生命・財産を守るために皆さまの存在は不可欠。私は地域建設業を地域の守護神のようなものと思っている。市民が安全・安心に暮らせるよう、今まで以上に皆さまとの連携を密にし、できる限り支援していきたい。

一方で、若手技術者不足や従業員の高齢化などの課題に直面していることも承知している。中長期的に建設業の担い手を確保していくためには、皆さまに健全に会社経営をしていただく必要がある。行政としても知恵を絞り、そのための仕組みづくりをしていく。子どもたちが「建設業に就職したい」と思えるような業界を目指していただきたい。

◆プロフィール◆

島田 幸三（しまだ・こうぞう）
1961年2月1日生まれ。65才。小美玉市議会議員などを経て、2011年の県議会議員選挙で初当選。座右の銘は「敬天愛人」。趣味はスポーツ観戦。サイクリングも好きで、 1期目は忙しさからあまり走れなかったため、「健康維持を兼ねて、つくば霞ヶ浦りんりんロードを本格的に走りたい」と話す。

▲2期目の初登庁で花束を受け取る島田市長

地域雇用と地域経済を支え、小美玉市のさらなる発展に尽力します

小美玉市建設業協会

会長 久保田 敏夫

㈱出沼興業
㈱植田建設工業
㈱内田工業
㈱エイブルコーポレーション
㈱オカザキ
㈲尾形工務店
㈱風間建築事務所
㈱川名工務店
㈲共立建設
㈱クボタ総建
興和工業㈱
㈱小林工業
㈱小谷野建設
㈲三晄プランニング
山水造園建設㈱
㈱勝樹設備
鈴木建材工業㈲
㈲鈴木工務店
㈲鈴木種苗園
㈱スズヤ
㈲清司工務店
㈱大栄
㈲高野建設
㈱ツカヤ
㈱鶴亀
㈱内藤工務店
㈲永作設備
仲田鋼建㈱
中村建設㈱
中村工業㈱
㈱中村.建工
㈱沼田機業
根崎解体工事㈱
㈾幡弁商店
㈱広瀬商事
㈱本田工業
㈱美野里建設
㈱茂木工務店
㈲山口水工

（39社）

小美玉市電設業協会

荒川電設㈲
磯辺電気㈱
金沢電業㈱
倉田電気商会
㈱シマムラ工業
㈲スズキ電設
㈱スズヤ
松本電工㈱
山口電気